



やなぎだ昌孝

奈良市議会の柳田昌孝は、令和3年に初当選させていただいてからの1期4年間、元市職員の経験を生かし「考動力」をテーマに議会活動へ挑んでまいりました。特に地元で計画されている新たなクリーンセンターの問題や、道路などインフラ整備の加速、市民サービス向上のための市役所組織、子育て世帯への支援、主要駅の魅力向上をはじめ、さまざまな市政課題に対して本会議で質問し、提案してきました。私の議会活動をご報告いたします。

Home page



Facebook



X



Instagram



市政報告

Vol.8
総集編

日本維新の会奈良市議団 所属
〒630-8043 奈良市六条1丁目12-2 TEL: 0742-46-2888
<https://m-yanagida.com>

元市職員の経験生かし「考動力」で挑戦

クリーンセンター 地元へのベスト追求、市長が議会の意見尊重姿勢

奈良市は、左京地区にある老朽化した「環境清美工場」を移転し、新たな



七条地区で建設を計画する市のクリーンセンターのイメージ

クリーンセンターを建設する計画を持っています。市と市の諮問機関の策定委員会は移転先について、七条地区を最有力候補としていますが、七条地区とその周辺の地域からは、建設に反対する請願が市議会に提出され、市議会はこれを採択しています。

私は本会議や委員会の場で何度もこの問題を取り上げ、仲川市長に対し「地元意見の尊重」「丁寧な地元との対話」を求めました。

また仲川市長に対し、候補地の決定を強行するのではなく、市議会の意思を尊重するよう強く求め、仲川市長の「議会の状況などを総合的に検討して決定する」との答弁を引き出しました。

市はクリーンセンター建設と並行して七条地区の新たなまちづくりを進めていくことを地元で説明していますが、賛否あるこの事業に対し地元選出の市議として「地元へのベスト」を追求していきます。

市内交通インフラの強化を訴え

敷島工区完成 大和中央道の整備さらに加速を

市の南北をつなぐ都市計画道路「大和中央道」は昨年6月、秋篠町から西大寺赤田町二丁目を結ぶ「敷島工区」=写真=が、25年を経て完成し、近鉄大和西大寺駅近隣の渋滞緩和が進みました。

しかしながら、まだまだ市の南北をつ

なぐ道路は不足しており、全体的な渋滞緩和につながっていないのが現状です。私は議会場で早期のインフラ整備を求めてきました。

議会場では、大和中央道のさらなる延伸、貫通を加速させ、市内各所の交通



渋滞の緩和、歩行者と自転車通行の安全性を高めることが必要と指摘。また、市道の改良、拡幅を進め、市内交通インフラの強化を市に強く要望しました。

身を切る改革を実行

私が所属する「日本維新の会奈良市議団」は今期、奈良市民の方々2000人を対象にした独自のアンケート調査を実施し、物価高騰を受ける市民



生活の中、果たして奈良市の市議会議員の定数(39人)が正しいかを問いました。この結果を基に私たちの会派は、市議会の定数を4削減する条例改

正案を本会議に提案しました。

奈良市と人口が同規模になる全国の「中核市」の議員定数平均は36人。全国平均を上回っている状況です。

耕作放棄地ゼロへ 適正な地産地消を

奈良市の農地台帳に記載されている農地は約7万7000筆ありますが、このうち耕作されていない農地は2000筆あります(令和5年4月1日時点)。高齢化による担い手不足や新規就農者

が参入しにくいなどの背景から、遊休地や耕作放棄地は増加傾向にあります。

私は市に対し、農地中間管理機構(農地バンク)との連携を提案し、未耕作地や遊休農地の斡旋や照会を行っていくことを要望。農地の有効活用を促進し、荒廃した農地がなくなり、米をはじめ適正な地産地消が実現できるよう求めました。